



誰もが住んでみたい村に  
農業農村整備

令和7年度

国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業  
出水平野地区高川ダム付帯設備耐震性能照査業務

# 積 算 書

(当初)

九州農政局  
南部九州土地改良調査管理事務所













事業名		国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業			
業務名		出水平野地区高川ダム付帯設備耐震性能照査業務			
業務別業務名: 設計業務					
名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
直接人件費				15,719,000	
・直接人件費	1.000	式		15,719,000	
・・・直接人件費	1.000	式		15,719,000	
・・・設計作業費	1.000	式	873,000	873,000	1式当たり
S63003 1-1.資料の検討	1.000	式	610,650	610,650	歩A・単A S単 1号
S63007 1-2.現地調査	1.000	式	262,500	262,500	歩A・単A S単 7号
合 計				873,150	
・・・設計作業費	1.000	式	1,811,000	1,811,000	1式当たり
S63003 2.耐震性能照査(レベル1地震動)	1.000	式	1,810,750	1,810,750	歩A・単A S単 2号
合 計				1,810,750	
・・・設計作業費	1.000	式	10,024,000	10,024,000	1式当たり
S63003 3.耐震性能照査(レベル2地震動)	1.000	式	10,024,150	10,024,150	歩A・単A S単 3号
合 計				10,024,150	
・・・設計作業費	1.000	式	1,353,000	1,353,000	1式当たり
S63003 4.ダム付帯設備安全性評価委員会等の資料(案)の作成	1.000	式	1,353,250	1,353,250	歩A・単A S単 4号
合 計				1,353,250	
・・・設計作業費	1.000	式	190,000	190,000	1式当たり
S63003 5.照査	1.000	式	189,750	189,750	歩A・単A S単 5号
合 計				189,750	
・・・設計作業費	1.000	式	728,000	728,000	1式当たり
S63003 6.点検取りまとめ	1.000	式	727,850	727,850	歩A・単A S単 6号
合 計				727,850	
・・・打合せ(設計)	1.000	式	618,000	618,000	1式当たり
S63010 打合せ(設計業務基準日額)					
一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.57日	2.000	回	135,355	270,710	歩A・単A S単 11号
S63010 打合せ(設計業務基準日額)					
一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.57日	3.000	回	115,667	347,001	歩A・単A S単 12号
合 計				617,711	
・・・ダム付帯設備安全性評価委員会等の出席	1.000	式	33,000	33,000	1式当たり
S63007 ダム付帯設備安全性評価委員会等の出席	1.000	式	33,450	33,450	歩A・単A S単 8号
合 計				33,450	
・・・基準日額(移動分)					
現地調査	1.000	式	88,000	88,000	1式当たり
S63007 現地調査基準日額	1.000	式	87,500	87,500	歩A・単A S単 9号
合 計				87,500	
・・・ダム付帯設備安全性評価委員会等の移動基準日額					
(熊本市内移動分)	1.000	式	1,000	1,000	1式当たり
S63007 ダム付帯設備安全性評価委員会等の移動基準日額	1.000	式	1,338	1,338	歩A・単A S単 10号





事業名 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業						
業務名 出水平野地区高川ダム付帯設備耐震性能照査業務						
業務別業務名:設計業務						
コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
S63003	*** S単 - 1号 *** 1-1.資料の検討 設計労務(直接人件費内業)		式	610,650		歩A・単A
S63003	*** S単 - 2号 *** 2.耐震性能照査(レベル1地震動) 設計労務(直接人件費内業)		式	1,810,750		歩A・単A
S63003	*** S単 - 3号 *** 3.耐震性能照査(レベル2地震動) 設計労務(直接人件費内業)		式	10,024,150		歩A・単A
S63003	*** S単 - 4号 *** 4.ダム付帯設備安全性評価委員会等の資料(案)の作成 設計労務(直接人件費内業)		式	1,353,250		歩A・単A
S63003	*** S単 - 5号 *** 5.照査 設計労務(直接人件費内業)		式	189,750		歩A・単A
S63003	*** S単 - 6号 *** 6.点検取りまとめ 設計労務(直接人件費内業)		式	727,850		歩A・単A
S63007	*** S単 - 7号 *** 1-2.現地調査 設計労務(直接人件費外業)		式	262,500		歩A・単A
S63007	*** S単 - 8号 *** ダム付帯設備安全性評価委員会等の出席 設計労務(直接人件費外業)		式	33,450		歩A・単A
S63007	*** S単 - 9号 *** 現地調査基準日額 設計労務(直接人件費外業)		式	87,500		歩A・単A
S63007	*** S単 - 10号 *** ダム付帯設備安全性評価委員会等の移動基準日額 設計労務(直接人件費外業)		式	1,338		歩A・単A
S63010	*** S単 - 11号 *** 打合せ(設計業務基準日額) 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.57日		回	135,355		歩A・単A
S63010	*** S単 - 12号 *** 打合せ(設計業務基準日額) 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.57日		回	115,667		歩A・単A
S63011	*** S単 - 13号 *** 打合せ(設計旅費・交通費) 打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種・解析等調査業務,着手前・最終,通勤により打合せ,ライトバン,1日,4時間		回	10,508		歩A・単A
S63011	*** S単 - 14号 *** 打合せ(設計旅費・交通費) 打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種・解析等調査業務,中間,通勤により打合せ,ライトバン,1日,4時間		回	10,508		歩A・単A
S63017	*** S単 - 15号 *** 旅費交通費(設計外業宿泊用) 旅費交通費(設計外業宿泊用) ライトバン,0.50日,2日,2時間		式	7,738		歩A・単A
S63018	*** S単 - 16号 *** ダム付帯設備安全性評価委員会等の出席旅費交通費 旅費交通費(設計外業日帰用) ライトバン,1日,1時間		式	1,914		歩A・単A
S63024	*** S単 - 17号 *** 業務報告書作成(その他) 業務報告書作成(その他) 1,A-4以下,500,1,A-4以下,厚手(金文字入)		式	12,920		歩A・単A
S63024	*** S単 - 18号 *** ダム付帯設備安全性評価委員会等の資料(案)の作成 業務報告書作成(その他) 20,A-3,200,0,A-3,薄手(黒文字入)		式	100,800		歩A・単A

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	出水平野地区高川ダム付帯設備耐震性能照査業務

業務別業務名: 設計業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 1号 ***					
S63003	1-1.資料の検討 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000	歩A 当たり算出
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	3.00人				
	5)技師Bの人数	3.50人				
	6)技師Cの人数	3.50人				
	7)技術員の人数	1.50人				
R04003	主任技師		1.000	人	66,900	66,900
R04004	技師(A)		3.000	人	59,600	178,800
R04005	技師(B)		3.500	人	48,500	169,750
R04006	技師(C)		3.500	人	40,300	141,050
R04007	技術員		1.500	人	36,100	54,150
	合計				610,650	算出数量 1,000 式
	単価			式	610,650	
	*** S単 - 2号 ***					
S63003	2.耐震性能照査(レベル1地震動) 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000	歩A 当たり算出
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	6.50人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	9.00人				
	5)技師Bの人数	9.00人				
	6)技師Cの人数	10.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師		6.500	人	66,900	434,850
R04004	技師(A)		9.000	人	59,600	536,400
R04005	技師(B)		9.000	人	48,500	436,500
R04006	技師(C)		10.000	人	40,300	403,000
	合計				1,810,750	算出数量 1,000 式
	単価			式	1,810,750	
	*** S単 - 3号 ***					
S63003	3.耐震性能照査(レベル2地震動) 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000	歩A 当たり算出
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	23.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	47.50人				
	5)技師Bの人数	60.50人				
	6)技師Cの人数	46.00人				
	7)技術員の人数	24.00人				
R04003	主任技師		23.000	人	66,900	1,538,700
R04004	技師(A)		47.500	人	59,600	2,831,000
R04005	技師(B)		60.500	人	48,500	2,934,250
R04006	技師(C)		46.000	人	40,300	1,853,800
R04007	技術員		24.000	人	36,100	866,400
	合計				10,024,150	算出数量 1,000 式
	単価			式	10,024,150	

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	出水平野地区高川ダム付帯設備耐震性能照査業務

業務別業務名:設計業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 4号 ***					
S63003	4.ダム付帯設備安全性評価委員会等の資料(案)の作成		式		1,000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	1)主任技術者の人数	0.00人				豪雪補正:なし 亜熱帯補正:なし
	2)技師長の人数	0.00人				基本給時間:8.0 超勤時間:0.0
	3)主任技師の人数	2.50人				深夜時間:0.0
	4)技師Aの人数	5.00人				
	5)技師Bの人数	10.00人				
	6)技師Cの人数	10.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師		2.500	人	66,900	167,250
R04004	技師(A)		5.000	人	59,600	298,000
R04005	技師(B)		10.000	人	48,500	485,000
R04006	技師(C)		10.000	人	40,300	403,000
	合計					算出数量 1,353,250 1.000 式
	単価			式		1,353,250
	*** S単 - 5号 ***					
S63003	5.照査		式		1,000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	1)主任技術者の人数	0.00人				豪雪補正:なし 亜熱帯補正:なし
	2)技師長の人数	0.00人				基本給時間:8.0 超勤時間:0.0
	3)主任技師の人数	1.50人				深夜時間:0.0
	4)技師Aの人数	1.50人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師		1.500	人	66,900	100,350
R04004	技師(A)		1.500	人	59,600	89,400
	合計					算出数量 189,750 1.000 式
	単価			式		189,750
	*** S単 - 6号 ***					
S63003	6.点検取りまとめ		式		1,000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	1)主任技術者の人数	0.00人				豪雪補正:なし 亜熱帯補正:なし
	2)技師長の人数	0.00人				基本給時間:8.0 超勤時間:0.0
	3)主任技師の人数	1.50人				深夜時間:0.0
	4)技師Aの人数	4.50人				
	5)技師Bの人数	4.50人				
	6)技師Cの人数	3.50人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師		1.500	人	66,900	100,350
R04004	技師(A)		4.500	人	59,600	268,200
R04005	技師(B)		4.500	人	48,500	218,250
R04006	技師(C)		3.500	人	40,300	141,050
	合計					算出数量 727,850 1.000 式
	単価			式		727,850
	*** S単 - 7号 ***					
S63007	1-2.現地調査		式		1,000	歩A 当たり算出

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	出水平野地区高川ダム付帯設備耐震性能照査業務

業務別業務名: 設計業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.50人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.50人				
	5)技師Bの人数	1.50人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師 外業		1.500 人	66,900	100,350	
R04004	技師(A) 外業		1.500 人	59,600	89,400	
R04005	技師(B) 外業		1.500 人	48,500	72,750	
	合計				262,500	算出数量 1.000 式
	単価		式		262,500	
	*** S単 - 8号 ***					
S63007	ダム付帯設備安全性評価委員会等の出席 設計労務(直接人件費外業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	3)主任技師の人数	0.50人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	4)技師Aの人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師 外業		0.500 人	66,900	33,450	
	合計				33,450	算出数量 1.000 式
	単価		式		33,450	
	*** S単 - 9号 ***					
S63007	現地調査基準日額 設計労務(直接人件費外業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	3)主任技師の人数	0.50人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	4)技師Aの人数	0.50人		深夜時間:0.0		
	5)技師Bの人数	0.50人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師 外業		0.500 人	66,900	33,450	
R04004	技師(A) 外業		0.500 人	59,600	29,800	
R04005	技師(B) 外業		0.500 人	48,500	24,250	
	合計				87,500	算出数量 1.000 式
	単価		式		87,500	
	*** S単 - 10号 ***					
S63007	ダム付帯設備安全性評価委員会等の移動基準日額 設計労務(直接人件費外業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	3)主任技師の人数	0.02人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	4)技師Aの人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師 外業		0.020 人	66,900	1,338	

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	出水平野地区高川ダム付帯設備耐震性能照査業務

業務別業務名: 設計業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	合計				1,338	算出数量 1.000 式
	単価		式		1,338	
	*** S単 - 11号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工程, 着手前・最終, 1.00人, 1.00人, 0.00人, 0.00人, 0.5日, 0.57日			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0 豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	1) 設計工程	一般工程				
	2) 打合せ	着手前・最終				
	3) 設計用主任技師人数	1.00人				
	4) 設計用技師(A)人数	1.00人				
	5) 設計用技師(B)人数	0.00人				
	6) 設計用技師(C)人数	0.00人				
	7) 打合せ日数	0.500日				
	8) 往復移動日数	0.570日				
R04003	主任技師	1.070	人	66,900	71,583	
R04004	技師(A)	1.070	人	59,600	63,772	
	合計				135,355	算出数量 1.000 回
	単価		回		135,355	
	*** S単 - 12号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工程, 中間, 0.00人, 1.00人, 1.00人, 0.00人, 0.5日, 0.57日			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0 豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	1) 設計工程	一般工程				
	2) 打合せ	中間				
	3) 設計用主任技師人数	0.00人				
	4) 設計用技師(A)人数	1.00人				
	5) 設計用技師(B)人数	1.00人				
	6) 設計用技師(C)人数	0.00人				
	7) 打合せ日数	0.500日				
	8) 往復移動日数	0.570日				
R04004	技師(A)	1.070	人	59,600	63,772	
R04005	技師(B)	1.070	人	48,500	51,895	
	合計				115,667	算出数量 1.000 回
	単価		回		115,667	
	*** S単 - 13号 ***					
S63011	打合せ (設計旅費・交通費)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ (設計旅費・交通費) 一般工程・解析等調査業務, 着手前・最終, 通勤により打合せ, ライトバン, 1日, 4時間			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0 豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	1) 設計工程	一般工程・解析等調査業務				
	2) 打合せ内容	着手前・最終				
	3) 主任技師配置人員	1人				
	4) 技師A配置人員	1人				
	5) 技師B配置人員	0人				
	6) 技師C配置人員	0人				
	7) 打合せ日数	0.50日				
	8) 往復移動日数	0.57日				
	9) 宿泊区分	通勤により打合せ				
	10) 交通機関区分	ライトバン				
	11) 高速道路往復料金 (税別)	6,690円				
	12) 鉄道往復1人当料金 (税別)	0円				
	13) バス往復1人当料金 (税別)	0円				
	14) 船舶往復1人当料金 (税別)	0円				
	15) 航空往復1人当料金 (税別)	0円				
	16) ライトバン使用日数	1日				
	17) 時間区分	4時間				
	18) 宿泊料金1人当料金 (税別)	0円				
	19) 宿泊手当1人当料金 (税別)	0円				
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1.000	式	6,690	6,690	

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	出水平野地区高川ダム付帯設備耐震性能照査業務

業務別業務名:設計業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン 二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	1,960	1,960	
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	10.800	L	172	1,858	
	合計				10,508	算出数量 1.000 回
	単価		回		10,508	
	*** S単 - 14号 ***					
S63011	打合せ (設計旅費・交通費)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計旅費・交通費) 一般工種・解析等調査業務,中間,通勤により打合せ,ライトバン,1 日,4時間					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0
	1)設計工種	一般工種・解析等調査業務				
	2)打合せ内容	中間				
	3)主任技師配置人員	0人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	1人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	0.57日				
	9)宿泊区分	通勤により打合せ				
	10)交通機関区分	ライトバン				
	11)高速道路往復料金(税別)	6,690円				
	12)鉄道往復1人当料金(税別)	0円				
	13)バス往復1人当料金(税別)	0円				
	14)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	15)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	16)ライトバン使用日数	1日				
	17)時間区分	4時間				
	18)宿泊料金1人当料金(税別)	0円				
	19)宿泊手当1人当料金(税別)	0円				
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1.000	式	6,690	6,690	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン 二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	1,960	1,960	
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	10.800	L	172	1,858	
	合計				10,508	算出数量 1.000 回
	単価		回		10,508	
	*** S単 - 15号 ***					
S63017	旅費交通費 (設計外業宿泊用)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費 (設計外業宿泊用) ライトバン,0.50日,2日,2時間					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0
	1)交通機関区分	ライトバン				
	2)高速道路往復料金(税別)	2,580円				
	3)鉄道往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	4)バス往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	5)船舶往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	6)航空往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	7)往復移動日数	0.50日				
	8)ライトバン使用日数	2日				
	9)時間区分	2時間				
	10)技師長外業日数	0.000日				
	11)主任技師外業日数	0.000日				
	12)技師A外業日数	0.000日				
	13)技師B外業日数	1.500日				
	14)技師C外業日数	1.500日				
	15)技術員外業日数	1.500日				
	16)宿泊料金1人当料金(税別)	0円				
	17)宿泊手当1人当料金(税別)	0円				
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1.000	式	2,580	2,580	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン 二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	2.000	日	1,650	3,300	
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	10.800	L	172	1,858	
	合計				7,738	算出数量 1.000 式
	単価		式		7,738	

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	出水平野地区高川ダム付帯設備耐震性能照査業務

業務別業務名: 設計業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 16号 ***					
S63018	ダム付帯設備安全性評価委員会等の出席旅費交通費		式		1,000	歩A 当たり算出
	旅費交通費(設計外業日帰用) ライトバン,1日,1時間			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)交通機関区分	ライトバン		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)高速道路往復料金(税別)	0円				
	3)鉄道往復1人当料金(税別)	0円		深夜時間:0.0		
	4)バス往復1人当料金(税別)	0円				
	5)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	6)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	7)ライトバン使用日数の入力	1日				
	8)時間区分	1時間				
	9)設計用技師長外業日数	0.000日				
	10)設計用主任技師外業日数	0.500日				
	11)設計用技師A外業日数	0.000日				
	12)設計用技師B外業日数	0.000日				
	13)設計用技師C外業日数	0.000日				
	14)設計用技術員外業日数	0.000日				
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン 二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1,000	日	1,450	1,450	
P34001	ガソリン JIS2号 レギュラースタンド	2,700	L	172	464	
	合計				1,914	算出数量 1,000 式
	単価		式		1,914	
	*** S単 - 17号 ***					
S63024	業務報告書作成(その他)		式		1,000	歩A 当たり算出
	業務報告書作成(その他) 1. A - 4以下,500,1. A - 4以下,厚手(金文字入)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)報告書焼付部数(部)	1		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)報告書規格区分	A - 4以下				
	3)原稿枚数区分(枚)	500		深夜時間:0.0		
	4)表紙部数(部)	1				
	5)表紙規格区分	A - 4以下				
	6)表紙区分	厚手(金文字入)				
P43422	報告書焼付代(コピー) A - 4以下 500枚	1,000	部	6,750	6,750	
P43450	報告書表紙代 厚手(金文字入) A - 4	1,000	部	6,170	6,170	
	合計				12,920	算出数量 1,000 式
	単価		式		12,920	
	*** S単 - 18号 ***					
S63024	ダム付帯設備安全性評価委員会等の資料(案)の作成		式		1,000	歩A 当たり算出
	業務報告書作成(その他) 20. A - 3,200,0. A - 3,薄手(黒文字入)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)報告書焼付部数(部)	20		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)報告書規格区分	A - 3				
	3)原稿枚数区分(枚)	200		深夜時間:0.0		
	4)表紙部数(部)	0				
	5)表紙規格区分	A - 3				
	6)表紙区分	薄手(黒文字入)				
P43429	報告書焼付代(コピー) A - 3 200枚	20,000	部	5,040	100,800	
P43453	報告書表紙代 薄手(黒文字入) A - 3	0,000	部	5,950	0	
	合計				100,800	算出数量 1,000 式
	単価		式		100,800	

令和7年度 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業  
出水平野地区高川ダム付帯設備耐震性能照査業務

特別仕様書

九州農政局 南部九州土地改良調査管理事務所

## 第1章 総則

(適用範囲)

### 第1-1条

令和7年度 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 出水平野地区高川ダム付帯設備耐震性能照査業務の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」(以下「共通仕様書」という)によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

(目的)

### 第1-2条

本業務は、国営土地改良事業出水平野地区で築造した高川ダムの付帯設備について、耐震性能照査を行うものである。

(場所)

### 第1-3条

本業務の対象場所は、鹿児島県出水市下大川内地内で別添位置図に示すとおりである。

(土地への立ち入り等)

### 第1-4条

作業実施のための土地の立ち入り等は、共通仕様書第1-16条によるが、発注者の許可無く土地の踏み荒らし、立木伐採等を行った場合に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。

また、作業に伴う立木伐採等については、事前に監督職員と打合せを行い、承諾を得るとともに、所有者の承諾を得た後、行うものとする。また、伐採は、必要最小限にとどめるとともに、伐採した有価木は付近に整理し、みだりに第三者に被害を与え、トラブルの生じることのないよう留意するものとする。

(一般事項)

### 第1-5条

業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- (1) 作業実施順序、方法等は監督職員と密接な連絡を取り、作業の円滑な進捗を図るものとする。
- (2) 作業に従事する技術者は、対象業務に十分な知識と経験を有した者とする。
- (3) 受注者は、常に業務内容を把握し、業務期間中に監督職員が資料の提出を求めた場合は速やかにこれに応じるものとする。

(管理技術者)

### 第1-6条

管理技術者は、共通仕様書第1-6条第3項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は、次のとおりである。

資格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	農業 - 農業土木 農業 - 農業農村工学
	農業	農業土木 農業農村工学
博士	当該業務に関連する学術部門	
ビルコンサルティング マネージャー	農業土木	

(照査技術者)

### 第1-7条

1. 照査技術者は、共通仕様書第1-7条第2項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は、次のとおりである。

資 格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	農業 - 農業土木 農業 - 農業農村工学
	農 業	農業土木 農業農村工学
博士	当該業務に関連する学術部門	
ビルコンサルティング マネージャー	農業土木	

2. 共通仕様書第 1-7 条第 4 項でいう、監督職員が指示する業務の節目とは、次のとおりとする。

- (1) 業務計画作成時
- (2) 耐震性能照査（レベル1地震動）完了時
- (3) 耐震性能照査（レベル2地震動）完了時
- (4) ダム付帯設備安全性評価委員会等の資料（案）作成時
- (5) 報告書原稿作成時
- (6) その他、照査計画作成時において監督職員が指示した場合

3. 当該業務の中で照査技術者は、管理技術者を兼務することはできない。

（担当技術者）

第 1 - 8 条

担当技術者は、共通仕様書第 1 - 8 条によるものとする。

（配置技術者の確認）

第 1 - 9 条

共通仕様書第 1 - 11 条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第 1-12 条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

- (1) 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。
- (2) 農業農村整備事業測量調査設計業務情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とする。

（保険加入）

第 1 - 10 条

受注者は、共通仕様書第 1-37 条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員からの請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

## 第 2 章 作業条件

（適用する図書）

第 2 - 1 条

本業務の基本的事項に関しては、次に示す図書によるものとする。他の図書を適用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。

番号	名 称	発行所	制定(改訂)年月
1	土地改良事業計画設計基準・設計「ダム」技術書	農林水産省 農村振興局	平成 15 年 4 月
2	国営造成農業用ダム耐震照査マニュアル	農林水産省 農村振興局	平成 24 年 3 月

3	土地改良事業計画設計指針（耐震設計）	農林水産省 農村振興局整備部	平成27年2月
4	農業用ダム付帯設備耐震性能照査マニュアル	農林水産省 農村振興局 整備部設計課	令和4年2月
5	電気設備計画設計技術指針（高低圧編）	農林水産省 農村振興局	令和元年9月
6	官庁施設の総合耐震診断・改修基準	国土交通省 大臣官房 官庁営繕部	平成8年10月

（作業条件）

第2-2条 本業務の実施にあたっては、以下の事項に留意して作業を進めるものとする。

- （1）作業の実施にあたっては、事前に作業方法及び具体的な工程計画を立案し、監督職員及び監督職員が指示する者と十分打合せを行い、安全で手戻りの無いよう留意しなければならない。
- （2）本業務において生じた第三者との紛争で受注者の責に帰する事項は、受注者の責任において処理しなければならない。
- （3）現地調査に伴い、施設内に立ち入る場合は、監督職員と打合せを行い、施設管理者と調整を行うものとする。
- （4）作業上支障となる状態が発生した場合は、監督職員と協議するものとする。

（参考図書）

第2-3条 設計作業の参考図書は、共通仕様書第2-1条によるほか、次表によるものとする。

番号	名 称	発 行 所	制定(改定)年月
1	農業用ダム機能診断マニュアル	農林水産省農村振興局	平成30年4月
2	大規模地震に対するダム耐震性能照査指針(案)・同解説	国土交通省河川局	平成17年3月
3	道路橋示方書・同解説（耐震設計編）	（公社）日本道路協会	平成29年11月
4	河川構造物の耐震性能照査指針・解説 - 水門・樋門及び堰編 -	国土交通省水管理 ・国土保全局治水課	令和2年2月
5	ダム・堰施設技術基準（案）	（一社）ダム・堰施設技術協会	平成28年3月
6	建築設備耐震設計・施工指針	（一財）日本建築センター	平成26年9月
7	配電盤・制御盤の耐震設計指針	（一社）日本電機工業会	平成29年3月
8	（平成25年度制定）官庁施設の総合耐震・対津波計画基準及び同解説 令和3年度版	（一社）公共建築協会	令和3年2月

(貸与資料)

第2-4条

貸与資料は、次のとおりである。

番号	貸与資料	数量
1	事業誌及び事業成績書	1式
2	令和6年度 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 高川ダム耐震性能照査業務 報告書	1部
3	令和6年度 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 南九州地域広沢ダム付帯設備耐震性能照査他業務 報告書	1部

また、上記以外に必要な資料がある場合は監督職員と協議するものとする。

(参考図書及び貸与資料の取扱い)

第2-5条

第2-3条、第2-4条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

- (1) 参考図書及び貸与資料の記載事項に相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- (2) 参考図書は、作業時点の最新版を用いることとし、作業中に改訂された場合には、監督職員と協議するものとする。
- (3) 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない。

### 第3章 作業内容

(作業項目及び数量)

第3-1条

本業務における作業項目及び数量は、次の作業項目表のとおりである。

なお、詳細は別紙1「作業項目内訳表」に示すものとする。

【作業項目表】

作業項目	数量	備考
・設計作業		
1. 準備作業	1式	
2. 耐震性能照査(レベル1地震動)	1式	
3. 耐震性能照査(レベル2地震動)	1式	
4. ダム付帯設備安全性評価委員会等の資料(案)の作成	1式	
5. 照査	1式	
6. 点検取りまとめ	1式	

(作業の留意点)

第3-2条

業務の実施にあたって、特に留意する点は、次のとおりとする。

- (1) 電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
- (2) 第2-3条、第2-4条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。
- (3) 当該業務で実施するコスト縮減対策の検討作業に関し、検討の視点、施策の提案内容及び比較検討の過程や結果等の成果については、報告書中に「コスト縮減対策」の章を別途設定し、取りまとめるものとする。なお、コスト縮減に関して新技術や新工法等の選定にあたっては、農業農村整備民間技術情報データベース(NNTD)及び新技術情報システム(NETIS)等を積極的に活用し

なければならない。

- ・農業農村整備民間技術情報データベース（NNTD）は、  
[http://www.nn-techinfo.jp/mdb\\_web/MdbTop.do](http://www.nn-techinfo.jp/mdb_web/MdbTop.do) を参照。
- ・新技術情報システム（NETIS）は、  
<http://www.netis.mlit.go.jp/NetisRev/NewIndex.asp> を参照。

（４）ダム付帯設備安全性評価委員会等について、次のとおり予定している。幹事会は管理技術者が出席するものとし、半日程度を予定している。

１）幹事会開催予定時期・場所

区分	回数	開催予定時期	開催予定場所	備考
幹事会	１回	令和７年１０月	熊本市	付帯設備耐震性能照査

２）資料作成予定部数・仕様

区分	予定部数	資料作成仕様
幹事会	２０部	仕様等については監督職員と協議するものとする。（受注者印刷）

## 第４章 打合せ

（打合せ）

第４ - １条

共通仕様書第１ - １０条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。

また、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

- |     |                                   |
|-----|-----------------------------------|
| 初回  | 作業着手の段階                           |
| 第２回 | 中間打合せ（耐震性能照査（レベル１地震動）完了時段階）       |
| 第３回 | 中間打合せ（耐震性能照査（レベル２地震動）完了時段階）       |
| 第４回 | 中間打合せ（ダム付帯設備安全性評価委員会等の資料（案）作成時段階） |
| 最終回 | 報告書原稿作成段階                         |

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

## 第５章 成果物

（成果物）

第５ - １条

成果物を共通仕様書第１ - １７条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- １．成果物の電子媒体（CD-R もしくは DVD-R） 正副２部
- ２．成果物の出力 １部（電子媒体の出力、黒表紙、金文字製本）

なお、報告書には本業務の要約版を掲載するものとし、その内容については別途監督職員の指示によるものとする。

（成果物の提出先）

第５ - ２条

成果物の提出先は、次のとおりとする。

宮崎県都城市志比田町４ ７ ７ ８ - １  
九州農政局南部九州土地改良調査管理事務所

## 第6章 契約変更

(契約変更)

### 第6 - 1条

業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- (1) 第2 - 2条に示す「作業条件」に変更が生じた場合。
- (2) 第3 - 1条に示す「作業項目及び数量」及び第3 - 2条に示す「作業の留意点」に変更が生じた場合。
- (3) 第4 - 1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合。
- (4) 第5 - 1条に示す「成果物」に変更が生じた場合。
- (5) 履行期間の変更が生じた場合。
- (6) 関係機関等の対外的協議により業務計画等に変更が生じた場合。
- (7) その他

## 第7章 定めなき事項

(定めなき事項)

### 第7 - 1条

この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

【別紙1】作業項目内訳表（出水平野地区：高川ダム）

作業項目	作業内容	数量
1. 準備作業		
1-1. 資料の検討	貸与資料を整理把握し、作業計画を立案する。	1式
1-2. 現地調査	ダム付帯設備耐震性能照査に必要な現地調査及び資料収集を行う。	1式
2. 耐震性能照査 （レベル1地震動）	【別紙2】耐震性能照査対象設備一覧表に示す設備について、耐震性能照査（レベル1地震動）を実施する。	1式
3. 耐震性能照査 （レベル2地震動）	【別紙2】耐震性能照査対象設備一覧表に示す設備について、耐震性能照査（レベル2地震動）を実施する。入力地震動については、過年度業務で設定したダム堤体の安全性評価と同じ地震動を用いることを基本とする。ただし、大きな地震がダム地点で観測された場合は、観測された地震波形情報等を基に、入力地震動の変更を検討する。また、建築設備は建築法令に基づき照査を行う。	1式
4. ダム付帯設備安全性 評価委員会等の資料 （案）の作成	幹事会の資料を作成するとともに審議を踏まえ、ダム付帯設備安全性評価委員会等の資料（案）を作成する。	1式
5. 照査	照査計画に基づき、業務の節目毎に照査を実施し、照査報告書の作成を行う。	1式
6. 点検取りまとめ	成果資料の点検及び取りまとめを行い、報告書を作成する。	1式

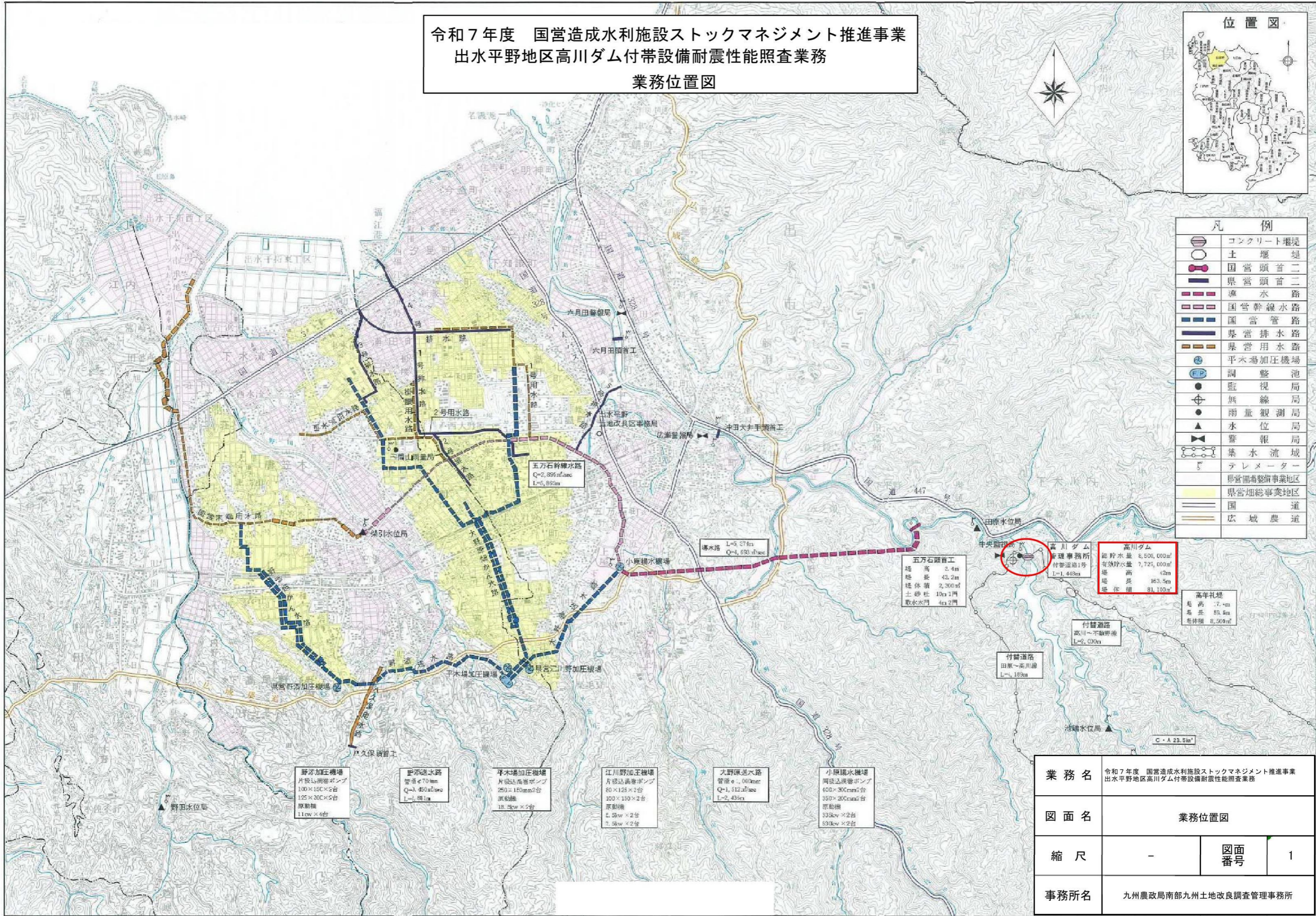
【別紙2】 耐震性能照査対象設備一覧表

施設区分		設備		構造型式・諸元	数量
取水設備及び洪水吐以外の放流設備	取水設備	取水口ゲート	ゲート設備(S)	鑄鉄製スライドゲート (1200mm)	4門
			開閉装置	電動スピンドル式	1式
	洪水吐以外の放流設備	放流バルブ	ゲート設備(S)	ハウエルバンガーバルブ (800mm)	1門
			開閉装置	電動スピンドル式	1式
洪水吐	洪水吐ゲート	ゲート設備(S)		鋼製テンターゲート (B=8.5m, H=6.5m)	2門
		戸当り(S)			2門
		門柱(RC)		鉄筋コンクリート	3箇所
		開閉装置		電動両端ワイヤロープ巻取式	1式
		天端橋梁			1式
管理棟・操作室	建築構造物	ダム管理棟(RC)	管理棟	地下1階, 地上2階 RC造	1棟
		取水設備操作室(RC)	操作室	1階, RC造	1棟
		放流設備操作室(RC)	操作室	地上1階, RC造	1棟
		洪水吐施設操作室(RC)	操作室	1階, RC造	3棟
操作・管理設備	取水設備	取水ゲート動力制御盤		取水設備操作室内, 屋内自立盤	1面
	洪水吐以外の放流設備	放流バルブ動力制御盤		放流設備操作室内, 屋内自立盤	1面
	洪水吐設備	洪水吐ゲート動力制御盤		取水設備操作室内, 屋内自立盤	1面
		洪水吐ゲート監視・操作盤		取水設備操作室内, 屋内自立盤	1面
		洪水吐1号ゲート機側操作盤		洪水吐設備操作室内, 屋内自立盤	1面
		洪水吐2号ゲート機側操作盤		洪水吐設備操作室内, 屋内自立盤	1面
		管理設備	受電盤		管理棟内, 屋内自立盤
	変圧器盤		管理棟内, 屋内自立盤	1面	
	低圧主幹盤		管理棟内, 屋内自立盤	1面	
	補助継電器盤		管理棟内, 屋内自立盤	1面	
	コントロールセンタ		管理棟内, 屋内自立盤	1面	
	非常用発電機		管理棟内, 屋内自立盤	1式	
	燃料タンク		管理棟内, 屋内自立盤	1式	

1 構成要素形式 S: 鋼構造 RC: 鉄筋コンクリート構造



令和7年度 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業  
出水平野地区高川ダム付帯設備耐震性能照査業務  
業務位置図



凡 例	
	コンクリート堰堤
	土堰堤
	国営頭首工
	県営頭首工
	国営幹線水路
	県営幹線水路
	国営排水路
	県営排水路
	県営用水路
	平水場加圧機場
	調整池
	監視局
	無線
	雨量観測局
	水位局
	警報局
	集水流域
	テレメーター
	県営圃場整備事業地区
	国営畑総事業地区
	国道
	広域農道

<b>高川ダム</b> 総貯水量 8,500,000m <sup>3</sup> 有効貯水量 7,721,000m <sup>3</sup> 堤高 42m 堤長 163.5m 集水域 81,100m <sup>2</sup>
<b>高羊礼堤</b> 堤高 7.4m 堤長 85.5m 集水域 8,500m <sup>2</sup>
<b>付帯道路</b> 田原～高川線 L=1,193m
<b>付帯道路</b> 高川～不願野線 L=2,030m

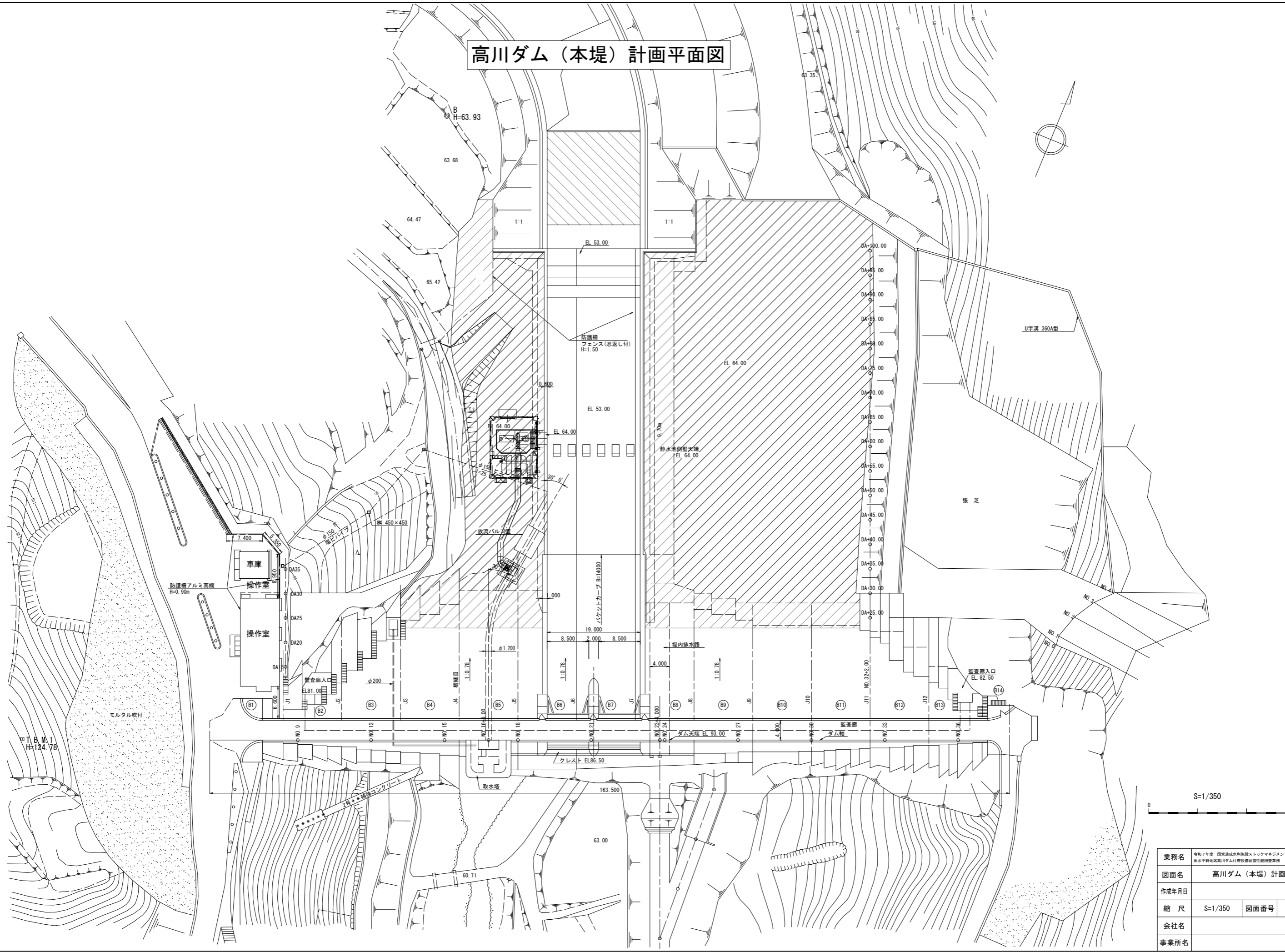
<b>野添加圧機場</b> 片段込揚水管ポンプ 100×15C×2台 125×20C×2台 原動機 11kw×4台	<b>野添送水路</b> 管径φ70mm Q=1.450m <sup>3</sup> /sec L=2,581m	<b>平水場加圧機場</b> 片段込揚水管ポンプ 250×150mm2台 原動機 18.5kw×2台	<b>江川野加圧機場</b> 片段込揚水管ポンプ 80×125×2台 100×130×2台 原動機 7.5kw×2台	<b>大野原送水路</b> 管径φ1,040mm Q=1,512m <sup>3</sup> /sec L=2,436m	<b>小原揚水機場</b> 両段込揚水管ポンプ 400×30Cmm2台 350×20Cmm2台 原動機 33kw×2台 53kw×2台
--	---	--	---	---	---

業務名	令和7年度 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 出水平野地区高川ダム付帯設備耐震性能照査業務		
図面名	業務位置図		
縮尺	-	図面番号	1
事務所名	九州農政局南部九州土地改良調査管理事務所		

「この地区は、建設省国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平14九裡、第365号)」

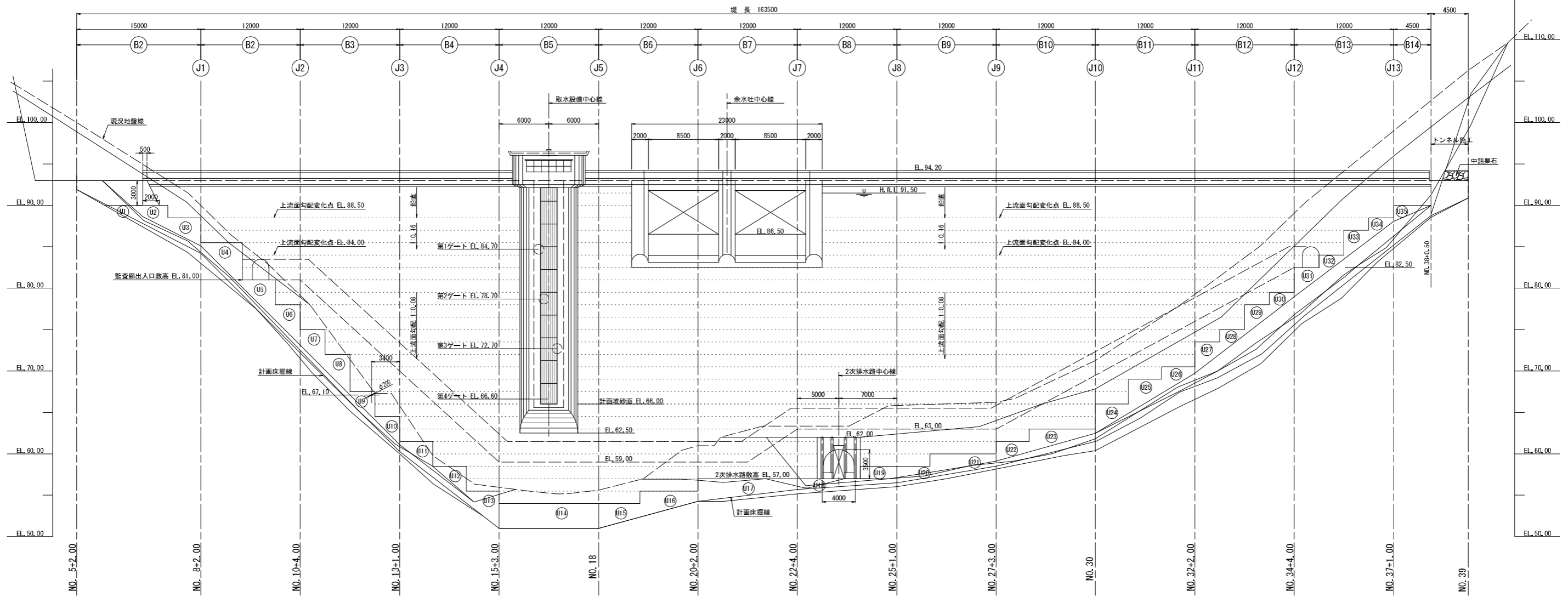


# 高川ダム（本堤）計画平面図



業務名	令和7年度 国家造成水利施設ストックマネジメント推進事業 出水平野地区高川ダム付帯設備耐震性能調査業務		
図面名	高川ダム（本堤）計画平面図		
作成年月日			
縮尺	S=1/350	図面番号	参-1
会社名			
事業所名			

# 高川ダム（本堤）堤体縦断面図（上流側）



測点	断面	距離	地盤高	岩盤高	床面高	天端高	玉川道路中心線
NO. 5	+2.00	0.00	101.07	91.50	93.00	93.09	
NO. 6		2.00	97.80	(90.00)	93.00	93.09	
NO. 7		5.00	94.69	(87.50)	93.00	93.09	
NO. 8	+2.00	5.00	91.76	(85.00)	93.00	93.09	
NO. 9		2.00	86.87	(84.00)	93.00	93.09	
NO. 10		3.00	86.87	(81.00)	93.00	93.09	
NO. 11	+4.00	5.00	82.93	(76.20)	93.00	93.09	
NO. 12		4.00	78.06	(72.00)	93.00	93.09	
NO. 13	+1.00	1.00	71.34	(71.00)	93.00	93.09	
NO. 14		5.00	67.25	(66.00)	93.00	93.09	
NO. 15		4.00	61.00	(64.90)	93.00	93.09	
NO. 16	+3.00	5.00	59.78	(61.00)	93.00	93.09	
NO. 17		4.00	56.37	(60.70)	93.00	93.09	
NO. 18		3.00	55.50	(58.50)	93.00	93.09	
NO. 19		2.00	55.06	(57.00)	93.00	93.09	
NO. 20	+2.00	5.00	55.50	(56.50)	93.00	93.09	
NO. 21		5.00	52.25	(54.00)	93.00	93.09	
NO. 22		5.00	60.09	(54.73)	93.00	93.09	
NO. 23	+4.00	5.00	62.13	(54.60)	93.00	93.09	
NO. 24		2.00	63.41	(55.10)	93.00	93.09	
NO. 25	+1.00	4.00	65.75	(54.90)	93.00	93.09	
NO. 26		1.00	63.30	(55.00)	93.00	93.09	
NO. 27		5.00	66.01	(56.50)	93.00	93.09	
NO. 28	+3.00	5.00	66.51	(56.11)	93.00	93.09	
NO. 29		1.00	68.74	(56.20)	93.00	93.09	
NO. 30		2.00	71.07	(56.10)	93.00	93.09	
NO. 31		4.00	74.33	(56.93)	93.00	93.09	
NO. 32	+2.00	5.00	77.54	(56.70)	93.00	93.09	
NO. 33		2.00	81.04	(67.93)	93.00	93.09	
NO. 34		3.00	85.14	(68.95)	93.00	93.09	
NO. 35	+4.00	5.00	90.23	(71.00)	93.00	93.09	
NO. 36		4.00	94.00	(75.62)	93.00	93.09	
NO. 37	+1.00	1.00	98.26	(76.35)	93.00	93.09	
NO. 38		5.00	102.33	(76.90)	93.00	93.09	
NO. 39		5.00	106.62	(80.00)	93.00	93.09	

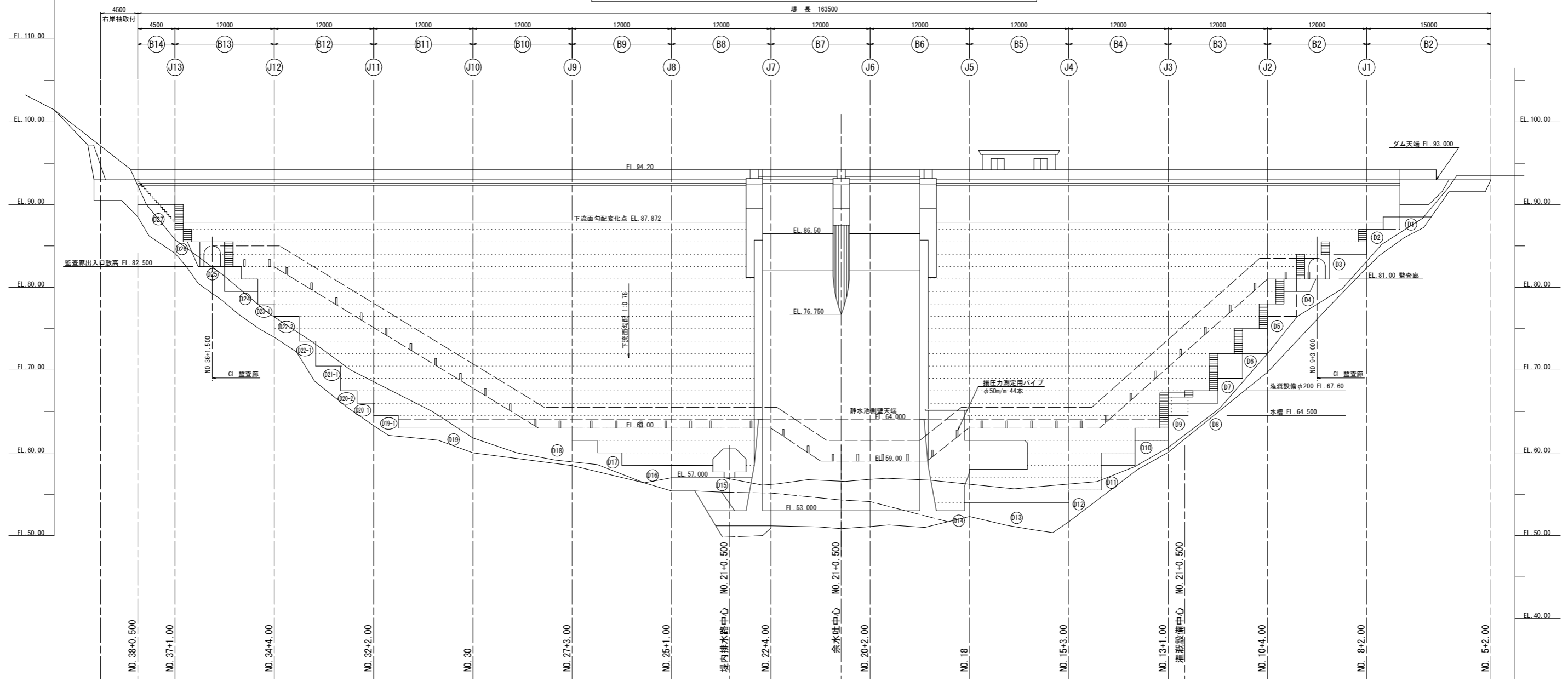
高川ダム堤体縦断面図(上流側より見た場合)



- 注:
- すべての測点(No. →)はメーターである。
  - 寸法は特に示さない限りミリメーターである。
  - 測点、断面、距離、地盤高、床面高、天端高等の単位はメーターである。
- 寸法は特に示さない限りミリメーターである。

業務名	令和7年度 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 出水平野地区高川ダム付帯設備耐震性診断調査業務		
図面名	高川ダム（本堤）堤体縦断面図（上流側）		
作成年月日			
縮尺	S=1/250	図面番号	参-2
会社名			
事業所名			

# 高川ダム（本堤）堤体縦断面図（下流側）



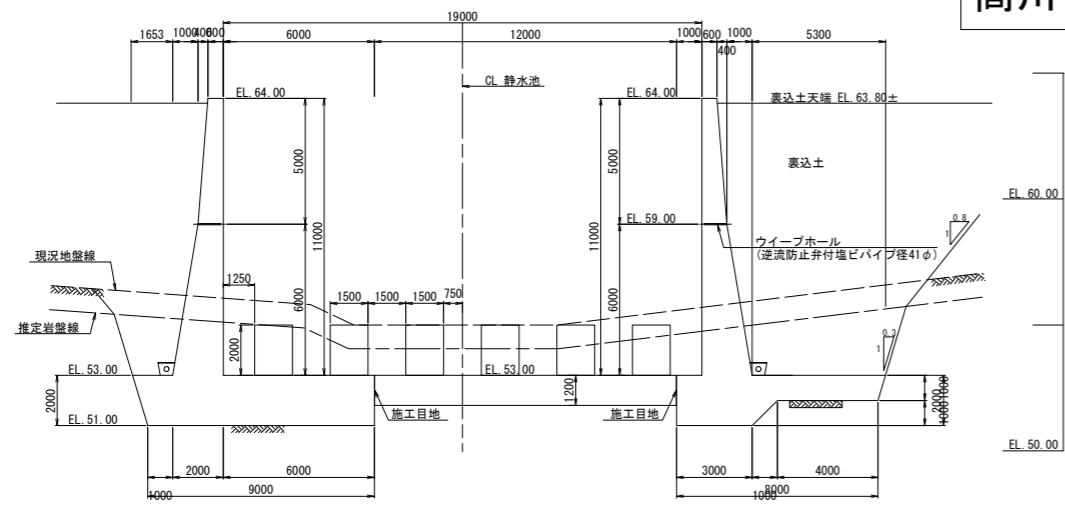
測点	単距	累距	地盤高	堤頂高	監査高
NO. 40	5.00	175.00	119.50	119.50	
NO. 39	4.50	170.00	99.40	81.00	
+0.5 NO. 38	0.50 4.00	165.50 165.00	90.56	88.50	
+1.00 NO. 37	1.00 5.00	161.00 160.00	84.80	84.75 83.84	
NO. 36	5.00	155.00	81.28	79.20	
NO. 35 +4.00	1.00 4.00	150.00 149.00	76.97	74.60 74.30	
NO. 34	5.00	145.00	73.67	71.20	
NO. 33	3.00	140.00	70.34	65.20	
+2.00 NO. 32	2.00 5.00	137.00 135.00	67.65	63.30 62.50	
NO. 31	5.00	130.00	65.20	61.40	
NO. 30	5.00	125.00	61.81	60.00	
NO. 29	5.00	120.00	60.05	59.37	
NO. 28 +3.00	2.00 3.00	115.00 113.00	59.24	58.75 58.50	
NO. 27	5.00	110.00	58.74	57.75	
NO. 26	4.00	105.00	56.50	56.50	
+1.00 NO. 25	1.00 5.00	101.00 100.00	57.16	55.92 55.57	
NO. 24	5.00	95.00	56.97	49.90	
NO. 23 +4.00	1.00 4.00	90.00 89.00	56.10	50.10 51.00	
NO. 22 +3.00	2.00 3.00	85.00 83.00	56.90	51.00 51.00	
NO. 21	3.00	80.00	56.66	50.70	
+2.00 NO. 20	2.00 5.00	77.00 75.00	56.97	51.08 51.15	
NO. 19	5.00	70.00	56.70	50.90	
NO. 18	5.00	65.00	55.90	52.26	
NO. 17	5.00	60.00	55.70	51.01	
NO. 16 +3.00	2.00 3.00	55.00 53.00	56.09	50.32 51.57	
NO. 15	5.00	50.00	56.59	53.50	
NO. 14	4.00	46.00	58.44	57.39	
+1.00 NO. 13	1.00 5.00	41.00 40.00	61.46	60.00 60.80	
NO. 12	5.00	35.00	65.12	64.80	
NO. 11 +4.00	1.00 4.00	30.00 29.00	70.95	68.80 69.60	
NO. 10	5.00	25.00	76.52	74.00	
NO. 9	3.00	20.00	79.81	79.50	
+2.00 NO. 8	2.00 5.00	17.00 15.00	85.31	82.80 83.94	
NO. 7	5.00	10.00	88.40	86.86	
NO. 6 +2.00	3.00 2.00	5.00 2.00	93.50	89.76 91.50	
NO. 5	0.00	0.00	93.50		

高川ダム堤体縦断面図（下流側より見た場合）  
S-1/250

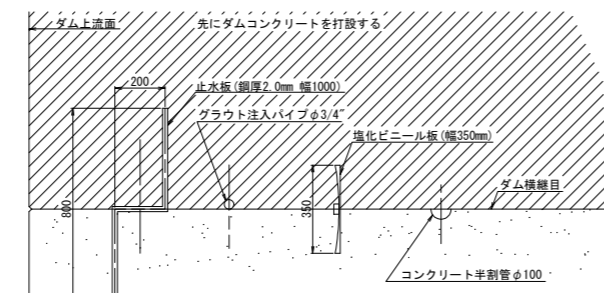


業務名	令和7年度 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 出水平野地区高川ダム付帯設備耐震性能調査業務		
図面名	高川ダム（本堤）堤体縦断面図（下流側）		
作成年月日			
縮尺	S-1/250	図面番号	参-3
会社名			
事業所名			

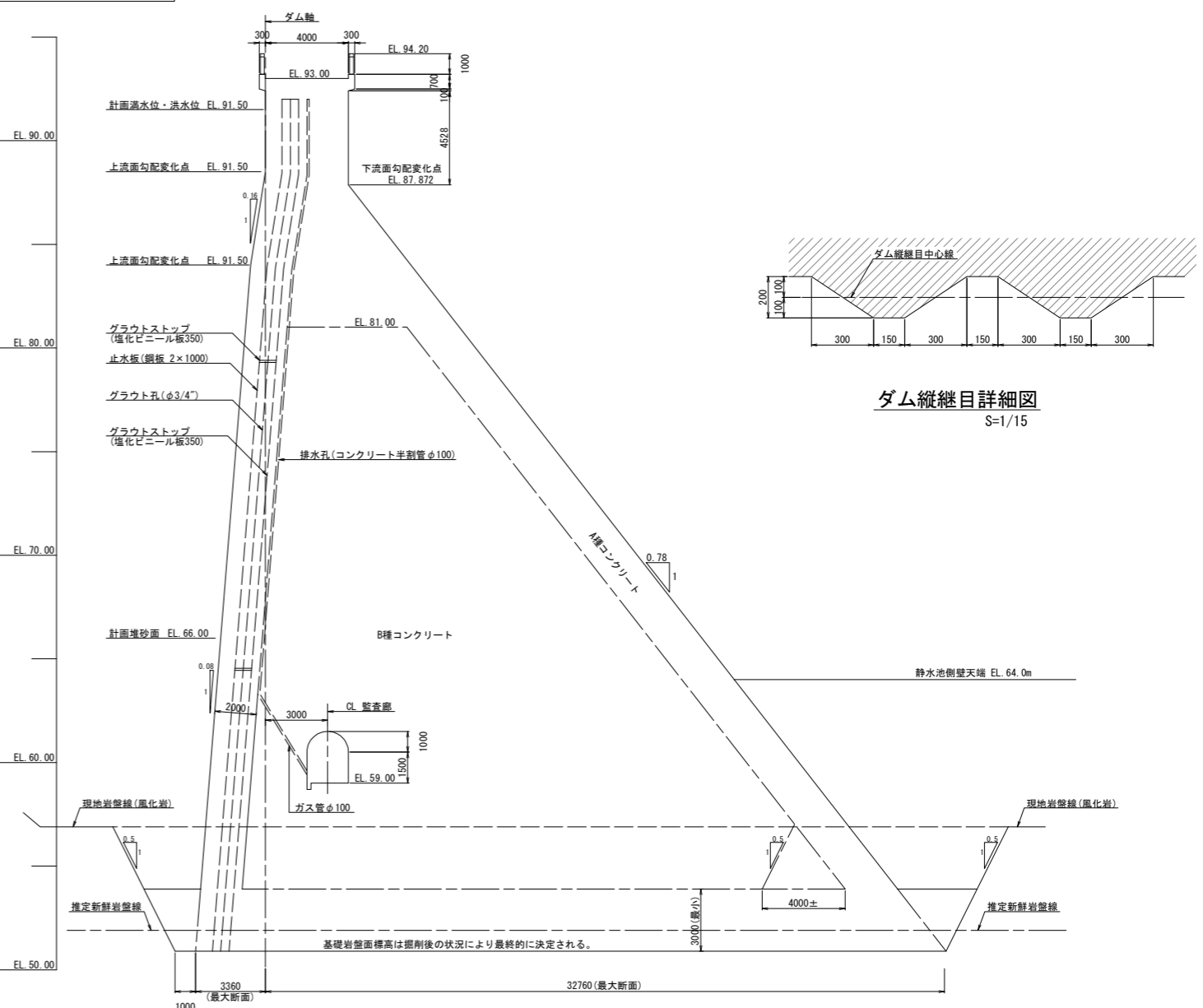
# 高川ダム（本堤）標準断面図



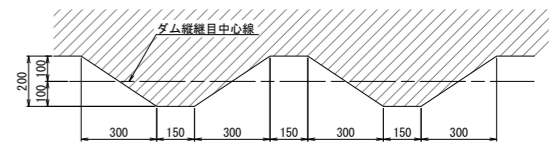
余水吐静水池標準断面図  
(ダム軸より 38.035から100.000までの区間)  
S=1/150



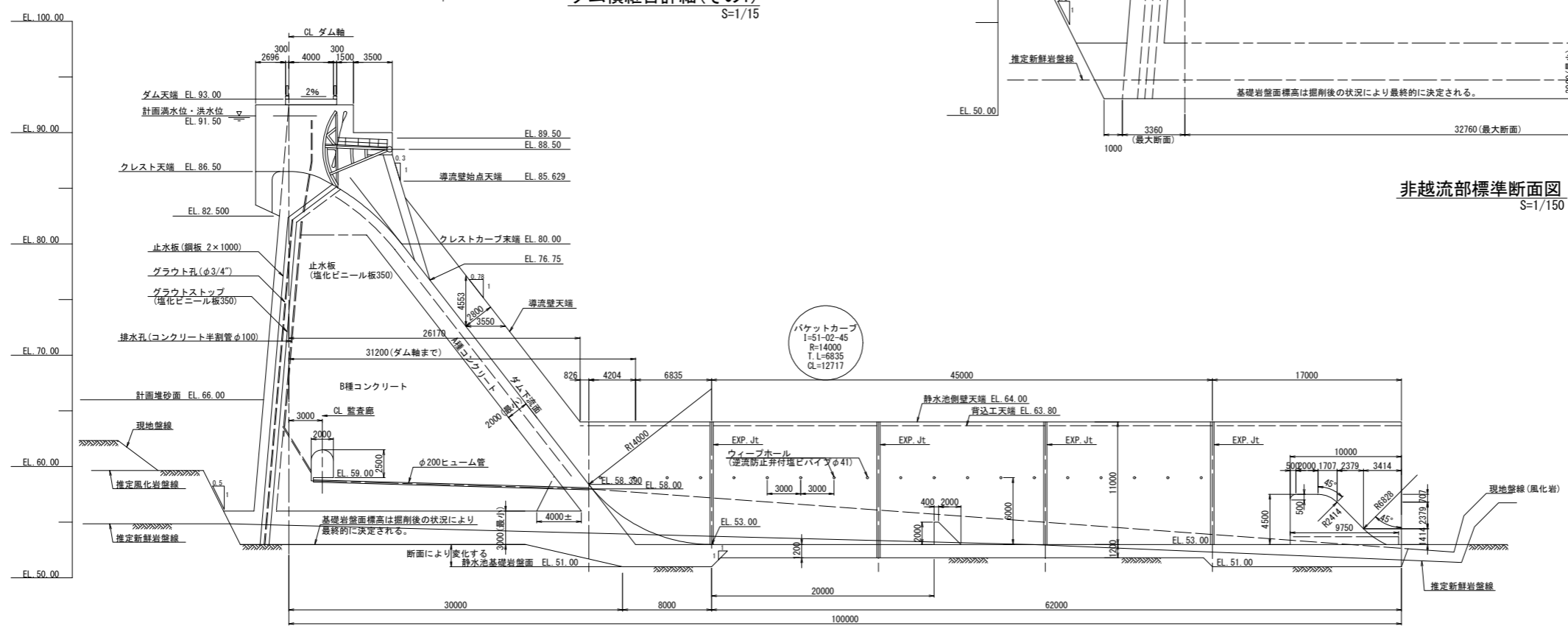
ダム横継目詳細(その1)  
S=1/15



非越流部標準断面図  
S=1/150



ダム縦継目詳細図  
S=1/15



越流部標準断面図(最大断面)  
S=1/250

- 注:
1. すべての標高(EL. -)はメーターである。
  2. 寸法は特に示さない限りミリメートルである
  3. コンクリートの材質A、Bの配合は主任技術者が指示する。
  4. 基礎処理グラウトは図Ⅱ-8、図Ⅱ-9を参照すること。
  5. ダム、コンクリートの打設リフト高さは標準1.500mとし、現況に準じて主任技術者の指示を得て、変更してもよい。

業務名	令和7年度 国家造成水利施設ストックマネジメント推進事業 出水平野地区高川ダム付帯設備耐震性能調査業務		
図面名	高川ダム(本堤)標準断面図		
作成年月日			
縮尺	S=250, 150, 15	図面番号	参-4
会社名			
事業所名			